

令和 7 年 1 2 月 2 日
道路・交通計画部道路計画課

東京外かく環状道路第 3 3 回東京外環トンネル施工等検討委員会の開催結果について

1 主旨

外環事業者が担う東京外かく環状道路事業において、第 3 3 回東京外環トンネル施工等検討委員会が開催され、各シールドトンネル工事及び地中拡幅工事における「再発防止対策及び地域の安全・安心を高める取り組みを踏まえた工事の状況」等について、有識者等で構成される委員にて確認された。

本件について、外環事業者のホームページに委員会の開催結果が公表されたので報告する。

2 第 3 3 回 東京外環トンネル施工等検討委員会

(1) 日時

令和 7 年 1 1 月 2 0 日（木） 1 5 時 0 0 分～1 7 時 0 0 分

(2) 議題

再発防止対策及び地域の安全・安心を高める取り組みを踏まえた工事の実施状況

施工計画及び地域の安全・安心を高める取り組みを踏まえた工事の実施状況

(3) 主な内容

- ・再発防止対策及び地域の安全・安心を高める取り組みを踏まえた工事の実施状況（施工中のシールドトンネル工事）について
施工状況を示す各種データなどから確認を行い、再発防止対策及び地域の安全・安心を高める取り組みを踏まえた工事の実施状況について確認が行われた。
- ・施工計画及び地域の安全・安心を高める取り組みを踏まえた工事の実施状況（施工中の地中拡幅工事（東名ジャンクション（北行）・（南行）工事））について
施工計画に基づいて準備工並びに内部支保工設置が行われていること、地域の安全・安心を高める取り組みとして実施している振動・騒音計測を適切に実施していること、地表面計測等が適切に実施され、周辺の生活環境に影響を与えるような事象が発生していないことについて確認が行われた。
- ・全体に関することについて
本委員会で確認した再発防止対策及び地域の安全・安心を高める取り組みを踏まえた工事の状況、東名ジャンクション地中拡幅工事の施工計画等について、沿線にお住まいの皆様丁寧に説明するとともに、問合せ等に適切に対応するなど、沿線にお住まいの皆様の不安を取り除くように努めることについて確認が行われた。

(4) 公表資料

- ①開催結果【別紙 1】
- ②議事概要【別紙 2】

3 公表先

国土交通省 東京外かく環状国道事務所ホームページ「東京リングステップ」

https://www.ktr.mlit.go.jp/gaikan/pi_kouhou/tu2_kiroku.html

4 今後の予定

今後、例年（令和6年度実績：2回）実施の外環事業シールドトンネル工事の状況等をお知らせする場として、オープンハウスなどで本委員会の結果を踏まえた内容がパネル等で情報提供される見込である。

国土交通省
関東地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Kanto Regional Development Bureau.



令和 7 年 11 月 21 日

国土交通省関東地方整備局

東日本高速道路（株）関東支社

中日本高速道路（株）東京支社

東京外環トンネル施工等検討委員会

第 33 回東京外環トンネル施工等検討委員会の開催結果について

第 33 回東京外環トンネル施工等検討委員会を令和 7 年 11 月 20 日に開催しましたのでお知らせいたします。議事概要や資料は、下記 URL をご覧ください。

【日 時】 令和 7 年 11 月 20 日（木） 15 時 00 分～17 時 00 分

【会 場】 TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター 9F

【委 員】 別添のとおり（参考 1）

【議 事】 再発防止対策及び地域の安全・安心を高める取り組み
施工計画及び地域の安全・安心を高める取り組み

【会議資料】 https://www.ktr.mlit.go.jp/gaikan/pi_kouhou/tu2_kiroku.html



東京外環トンネル施工等検討委員会
第33回東京外環トンネル施工等検討委員会

委員名簿

委員長	小泉 淳	早稲田大学名誉教授
委員	赤木 寛一	早稲田大学名誉教授
	砂金 伸治	東京都公立大学法人東京都立大学都市環境学部教授
	大島 洋志	(一社) 日本応用地質学会名誉会員
	菊本 統	国立大学法人京都大学学術情報メディアセンター教授
	日下 敦	国立研究開発法人 土木研究所道路技術研究グループ上席研究員
	西村 和夫	東京都公立大学法人東京都立大学名誉教授
	真下 英人	(一社) 日本建設機械施工協会施工技術総合研究所長
	水谷 敏則	(一財) 先端建設技術センター技術アドバイザー
		【五十音順、敬称略】
	福本 充	東京都建設局三環状道路整備推進部長
	白鳥 明	首都高速道路(株) 技術部長
	河村 英知	国土交通省関東地方整備局道路部長
	金森 滋	国土交通省関東地方整備局東京外かく環状国道事務所長
	宮野 敏雄	東日本高速道路(株) 関東支社建設事業部長
	大津 敏郎	東日本高速道路(株) 技術本部 総合技術センター エキスパート
	古田 康裕	中日本高速道路(株) 東京支社建設事業部長
	海瀬 忍	中日本高速道路(株) 技術本部・高度技術推進部専門主幹(トンネル担当)

第33回 東京外環トンネル施工等検討委員会 議事概要

■ 第33回検討委員会：令和7年11月20日

【議 題】

- 再発防止対策及び地域の安全・安心を高める取り組みを踏まえた工事の実施状況について
 - ・大泉側本線（北行）シールドトンネル工事
 - ・大泉側本線（南行）シールドトンネル工事
 - ・中央 JCT 南側 B ランプシールドトンネル工事
 - ・中央 JCT 南側 F ランプシールドトンネル工事
 - ・東名 JCT A ランプシールドトンネル工事
- 施工計画及び地域の安全・安心を高める取り組みを踏まえた工事の実施状況について
 - ・東名 JCT 地中拡幅（北行）工事
 - ・東名 JCT 地中拡幅（南行）工事

【議事概要】

- 大泉側本線（北行）シールドトンネル工事において、第32回検討委員会にて確認を行って以降令和7年10月31日までの間の再発防止対策及び地域の安全・安心を高める取り組みを踏まえた工事の状況等について、以下を確認した。
 - ・大泉側本線（北行）シールドトンネル工事は、令和7年7月1日から令和7年10月31日で約171m（掘進済み延長約4,440m/約6,970m）の掘進を行ったこと。
 - ・シールド掘進地盤に適した添加材の選定については、再発防止対策のシールド掘進地盤に適した添加材の選定結果を踏まえ、掘進状況に応じて気泡材、鉱物系添加材を適切に使用していること。
 - ・塑性流動性とチャンバー内圧力のモニタリングと対応については、カッタートルク、チャンバー内圧力勾配等の状況をリアルタイムで監視するとともに、粒度分布試験等により土砂性状の確認を所定の頻度で実施しており、塑性流動性の確保が困難となる兆候は確認されていないこと。また、カッター回転不能となる事象は、発生していないこと。
 - ・排土量管理については、排土重量、掘削土体積及び排土率は1次管理値以内に収まっていたこと。
 - ・カッタートルクの上昇傾向が確認された区間において、再発防止対策に基づき掘進速度を低減し、慎重に掘進を行っていること。対応として、カッタービットの洗浄により固着した土砂を除去しながら掘進を行った結果、掘進速度の改善がみられたこと。
 - ・令和6年10月22日の掘進中にスクリーシャフトの駆動軸部が破断し補修を行ったスクリーコンベヤーについては、坑内土砂搬送設備（ベルトコンベヤー）の段取り替え作業に伴う一時掘進停止の期間中に、耐久性を更に高めることを目的とした部材の更新が完了したこと。
 - ・地域の安全・安心を高める取り組みとして実施している振動・騒音計測を適切に実施していること。また、地表面計測等についても適切に実施していること。
 - ・振動・騒音に関する問い合わせに対しては丁寧に対応しつつ、振動・騒音がシールド掘進に起因する可能性が考えられる場合には振動・騒音の緩和対策を状況に応じて実施したこと。
 - ・地表面の巡回監視や地域住民への情報提供等が適切に行われていること。
 - ・再発防止対策及び地域の安全・安心を高める取り組みを確実に履行しながら掘進を進めており、再発防止対策等が有効に機能していること。
 - ・今後の施工においても、細粒分が少ない等の地盤があるとともに、トンネル直上にお

住まいの方がおられることから、掘削地山の土砂性状を早期に把握するなど、引き続き慎重に掘進を行うこと。

○大泉側本線（南行）シールドトンネル工事において、第 32 回検討委員会にて確認を行って以降令和 7 年 10 月 31 日までの間の再発防止対策及び地域の安全・安心を高める取り組みを踏まえた工事の状況等について、以下を確認した。

- ・大泉側本線（南行）シールドトンネル工事は、令和 7 年 7 月 1 日から令和 7 年 10 月 31 日で約 300m（掘進済み延長約 4,500m/約 6,990m）の掘進を行ったこと。
- ・シールド掘進地盤に適した添加材の選定については、再発防止対策のシールド掘進地盤に適した添加材の選定結果を踏まえ、掘進状況に応じて気泡材、鉱物系添加材を適切に使用していること。
- ・塑性流動性とチャンバー内圧力のモニタリングと対応については、カッタートルク、チャンバー内圧力勾配等の状況をリアルタイムで監視するとともに、粒度分布試験等により土砂性状の確認を所定の頻度で実施しており、塑性流動性の確保が困難となる兆候は確認されていないこと。また、カッター回転不能となる事象は、発生していないこと。
- ・排土量管理については、排土重量、掘削土体積及び排土率について 1 次管理値を一部超過している箇所が確認されているが、掘進における管理フロー（切羽の安定管理、掘削土量）に基づき、塑性流動性などの施工データ、シールドマシン負荷の確認等により異常がないことを確認した後に施工を行う等、適切に施工が行われていること。シールドマシンの長期停止対策としてチャンバー内土砂を加泥材に置き換えたため、長期停止後の掘削時に比重の大きい土砂が排出されたことが、1 次管理値超過の要因であると推察されること。
- ・地域の安全・安心を高める取り組みとして実施している振動・騒音計測を適切に実施していること。また、地表面計測等についても適切に実施していること。
- ・振動・騒音に関する問い合わせに対しては丁寧に対応しつつ、振動・騒音がシールド掘進に起因する可能性が考えられる場合には振動・騒音の緩和対策を状況に応じて実施したこと。
- ・地表面の巡回監視や地域住民への情報提供等が適切に行われていること。
- ・再発防止対策及び地域の安全・安心を高める取り組みを確実に履行しながら掘進を進めており、再発防止対策等が有効に機能していること。
- ・今後の施工においても、細粒分が少ない等の地盤があるとともに、トンネル直上にお住まいの方がおられることから、掘削地山の土砂性状を早期に把握するなど、引き続き慎重に掘進を行うこと。

○中央 JCT 南側 B ランプシールドトンネル工事において、第 32 回検討委員会にて確認を行って以降令和 7 年 10 月 31 日までの間の再発防止対策及び地域の安全・安心を高める取り組みを踏まえた工事の状況等について、以下を確認した。

- ・中央 JCT 南側 B ランプシールドトンネル工事は、令和 7 年 7 月 1 日から令和 7 年 10 月 31 日で事業用地内において約 128m（掘進済み延長約 389m/約 1,080m）の掘進を行ったこと。
- ・シールド掘進地盤に適した添加材の選定については、再発防止対策のシールド掘進地盤に適した添加材の選定結果を踏まえ、掘進状況に応じて鉱物系添加材を適切に使用していること。
- ・塑性流動性とチャンバー内圧力のモニタリングと対応については、カッタートルク、チャンバー内圧力勾配等の状況をリアルタイムで監視するとともに、粒度分布試験等により土砂性状の確認を所定の頻度で実施しており、塑性流動性の確保が困難となる兆候は確認されなかったこと。また、カッター回転不能となる事象は、発生していなかったこと。
- ・排土量管理については、排土重量、掘削土体積及び排土率は、1 次管理値以内に収ま

っていること。

- ・地域の安全・安心を高める取り組みとして実施している振動・騒音計測を適切に実施していること。また、地表面計測等についても適切に実施しており、周辺の生活環境に影響を与えるような事象は、発生していないこと。
- ・地表面の巡回監視や地域住民への情報提供等が適切に行われていること。
- ・再発防止対策及び地域の安全・安心を高める取り組みを確実に履行しながら掘進を進めており、再発防止対策等が有効に機能していること。
- ・今後の施工においても、細粒分が少ない等の地盤があるとともに、トンネル直上にお住まいの方がおられることから、掘削地山の土砂性状を早期に把握するなど、引続き慎重に掘進を行うこと。

○中央 JCT 南側 F ランプシールドトンネル工事において、第 32 回検討委員会にて確認を行って以降令和 7 年 10 月 31 日までの間の再発防止対策及び地域の安全・安心を高める取り組みを踏まえた工事の状況等について、以下を確認した。

- ・中央 JCT 南側 F ランプシールドトンネル工事は、令和 7 年 7 月 1 日から令和 7 年 10 月 31 日で事業用地内において約 62m（掘進済み延長約 115m/約 720m）の掘進を行ったこと。
- ・シールド掘進地盤に適した添加材の選定については、再発防止対策のシールド掘進地盤に適した添加材の選定結果を踏まえ、掘進状況に応じて鉱物系添加材を適切に使用していること。
- ・塑性流動性とチャンバー内圧力のモニタリングと対応については、カッタートルク、チャンバー内圧力勾配等の状況をリアルタイムで監視するとともに、粒度分布試験等により土砂性状の確認を所定の頻度で実施しており、塑性流動性の確保が困難となる兆候は確認されなかったこと。また、カッター回転不能となる事象は、発生していなかったこと。
- ・排土量管理については、掘削土重量、排土体積は 1 次管理値以内に収まっていること。排土率について下限側の 1 次管理値を一部超過している箇所が確認されたが、掘進における管理フロー（切羽の安定管理、掘削土量）に基づき、塑性流動性などの施工データ、シールドマシン負荷の確認等により異常がないことを確認した後に施工を行う等、適切に施工が行われていること。砂・礫分が比較的多い地盤であったため、掘進する際の圧力により、地山に存在する間隙水等が掘削断面の外に押し出されたことが、1 次管理値超過の要因であると推察されること。
- ・地域の安全・安心を高める取り組みとして実施している振動・騒音計測を適切に実施していること。また、地表面計測等についても適切に実施しており、周辺の生活環境に影響を与えるような事象は、発生していないこと。
- ・地表面の巡回監視や地域住民への情報提供等が適切に行われていること。
- ・再発防止対策及び地域の安全・安心を高める取り組みを確実に履行しながら掘進を進めており、再発防止対策等が有効に機能していること。
- ・事業用地外では、細粒分が少ない等の地盤があるとともに、トンネル直上にお住まいの方がおられることから、掘削地山の土砂性状を早期に把握するなど、引続き慎重に掘進を行うこと。

○東名 JCT A ランプシールドトンネル工事において、第 32 回検討委員会にて確認を行って以降令和 7 年 10 月 31 日までの間の再発防止対策及び地域の安全・安心を高める取り組みを踏まえた工事の状況等について、以下を確認した。

- ・東名 JCT A ランプシールドトンネル工事は、令和 7 年 7 月 1 日から令和 7 年 10 月 31 日で約 344m（掘進済み延長約 684m/約 1,470m）の掘進を行ったこと。
- ・シールド掘進地盤に適した添加材の選定については、再発防止対策のシールド掘進地盤に適した添加材の選定結果を踏まえ、掘進状況に応じて起泡溶液を適切に使用していること。

- ・塑性流動性とチャンバー内圧力のモニタリングと対応については、カッタートルク、チャンバー内圧力勾配等の状況をリアルタイムで監視するとともに、粒度分布試験等により土砂性状の確認を所定の頻度で実施しており、塑性流動性の確保が困難となる兆候は確認されていないこと。また、カッター回転不能となる事象は、発生していないこと。
- ・排土量管理については、排土重量、掘削土体積及び排土率は、1 次管理値以内に収まっていること。
- ・北多摩層（固結粘性土層）の掘進においては、裏込め材が地山にまわりにくいことに留意し、裏込め材の注入圧・注入率管理をより適切に行うこと。また並行して地表面監視をより丁寧に実施していくこと。
- ・地域の安全・安心を高める取り組みとして実施している振動・騒音計測を適切に実施していること。また、地表面計測等についても適切に実施しており、周辺の生活環境に影響を与えるような事象は、発生していないこと。
- ・地表面の巡回監視や地域住民への情報提供等が適切に行われていること。
- ・再発防止対策及び地域の安全・安心を高める取り組みを確実に履行しながら掘進を進めており、再発防止対策等が有効に機能していること。
- ・今後の施工においても、トンネル直上にお住まいの方がおられることから、掘削地山の土砂性状を早期に把握するなど、引続き慎重に掘進を行うこと。

○東名 JCT 地中拡幅（北行）工事において、施工計画及び地域の安全・安心を高める取り組みを踏まえた工事の状況等について、以下を確認した。

- ・東名 JCT 地中拡幅（北行）工事は、施工計画に基づいて準備工並びに内部支保工設置を行っていること。
- ・部分拡幅部では、薬液注入による止水対策が完了し、湧水量を抑制したこと。
- ・地域の安全・安心を高める取り組みとして実施している振動・騒音計測を適切に実施していること。また、地表面計測等についても適切に実施しており、周辺の生活環境に影響を与えるような事象は、発生していないこと。

○東名 JCT 地中拡幅（南行）工事において、施工計画及び地域の安全・安心を高める取り組みを踏まえた工事の状況等について、以下を確認した。

- ・東名 JCT 地中拡幅（南行）工事は、施工計画に基づいて準備工並びに内部支保工設置を行っていること。
- ・部分拡幅部の調査工の結果、大きな介在砂層は見られず、調査孔からの異常湧水もなかったため、今後施工する部分拡幅部のパイプルーフ工の施工に対して追加の止水対策は基本的に必要ないことを確認した。
- ・地域の安全・安心を高める取り組みとして実施している振動・騒音計測を適切に実施していること。また、地表面計測等についても適切に実施しており、周辺の生活環境に影響を与えるような事象は、発生していないこと。

○本委員会で確認した再発防止対策及び地域の安全・安心を高める取り組みを踏まえた工事の状況、東名 JCT 地中拡幅工事の施工計画等について、沿線にお住まいの皆様丁寧に説明するとともに、問合せ等に対処するなど、沿線にお住まいの皆様の不安を取り除くように努めることを確認した。

以 上

外環事業シールドトンネル工事の状況等をお知らせするオープンハウスの開催について

(1) 東名ジャンクション周辺地区

①オープンハウス（入退場自由）

日時：令和8年1月30日（金）	18時00分～20時00分
令和8年1月31日（土）	10時00分～12時00分 14時00分～16時00分

②意見交換会（事前登録制）

日時：令和8年1月30日（金） 19時00分～20時00分

①及び②は外環東名インフォメーションセンター（世田谷区喜多見3-1）にて行う。

(2) 中央ジャンクション周辺地区

①オープンハウス（入退場自由）

日時：令和8年1月23日（金）	18時00分～20時00分
令和8年1月24日（土）	10時00分～12時00分 14時00分～16時00分

②意見交換会（事前登録制）

日時：令和8年1月23日（金） 19時00分～20時00分

①は北野3丁目常設会場（三鷹市北野3-6-1）にて行う。

②は北野地区公会堂（三鷹市北野4-10-1）にて行う。

(3) その他

①他区市のオープンハウス及び意見交換会を含めた詳細は追加資料2のとおり。

②現場視察会も同時期に実施する予定であり、工事箇所周辺の方を対象にお知らせを配布している。なお、参加については、事前申込抽選制となり、応募人数によってはお知らせが配布された方で、対象区市にお住まいの方が優先となる。

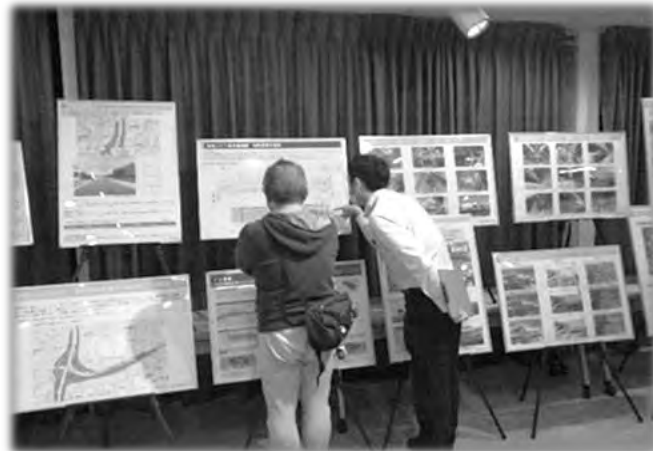
外環事業シールドトンネル工事の状況等をお知らせする オープンハウスを開催します。

平素より、東京外かく環状道路事業（外環事業）にご理解とご協力を
頂き誠にありがとうございます。

令和2年10月に調布市内で発生した外環事業の工事における地表面
陥没・空洞事故により、住民の皆様にご迷惑とご不安を与えてし
まい、心よりお詫び申し上げます。

この度、令和7年11月20日に開催された東京外環トンネル施工等検
討委員会の結果等を受け、シールドトンネル工事の事業用地※外掘進や
大泉・中央・東名ジャンクションにおける現在の状況・今後の予定など
について、パネルなどにより情報提供を行うオープンハウスを開催します。
また、参加をご希望される住民の皆様と事業者による意見交換の場も併
せて設けさせていただきます。

※事業用地：事業者が所有している土地



オープンハウス

事前登録は不要です。

オープンハウスは、開催期間中いつでも入退場いただけます。

意見交換の場

事前登録制とさせていただきます。

参加希望の方は、氏名・住所・電話番号・希望会場（A～G）・参加人数を記載の上、
以下のメールアドレスまたはFAX 宛にお申し込みください。

Eメール ktr-gaikan@mlit.go.jp FAX 03-3707-3648

メール送信用二次元コード



※運営の都合上、実施日に限りがございます。

※席に限りがあるため各回先着順とさせていただきます。全日程を通しお一人様1回とさせていただきます。

※事前登録がない場合、当日会場内にご案内できない場合がございます。

※お申込み期限は、各会場の開催日2日前の15時までとさせていただきます。（2日前が土日祝日の場合はその前日まで）

各開催日時及び会場の詳細は裏面に掲載しております。

〈 ご来場に関する注意事項 〉

- 会場内では、会場にお越しの方々のプライバシーの問題もございますので、ビデオカメラ等を使用した撮影はご配慮
ください。なお、個人的な記録として撮影をする場合は、他の来場者の方々に十分ご配慮頂くと共に、webサイトへの
投稿、動画配信等についてはご遠慮頂くようお願いいたします。
- 会場にはオープンハウス来場者用の駐車場を用意しておりませんので、公共交通機関にてお越しください。
- マスコミの方の取材・撮影はお断りしております。
- オープンハウスでご説明する資料は、ホームページで公表いたします。
右記の二次元コードまたは以下のURLにてご確認ください。
なお、資料の公開はオープンハウスの当日を予定しています。
URL: <https://tokyo-gaikan-project.com/news/openhouse.php>
- ホームページをご覧いただけない方、ご質問やご意見がある方は、以下の〈お問い合わせ先〉にご連絡ください。



〈 主催・お問い合わせ先 〉

国土交通省 関東地方整備局 東京外かく環状国道事務所

TEL 0120-34-1491（フリーダイヤル、平日9:15～18:00）

E-mail: ktr-gaikan@mlit.go.jp

東日本高速道路（株） 関東支社 東京外環工事事務所

中日本高速道路（株） 東京支社 東京工事事務所

開催場所・日時のご案内

大泉インフォメーションセンター

令和8年1月17日(土)

オープンハウス 10:00~12:00
14:00~16:00



■住所/練馬区大泉町4-9

■主な内容

事業概要及び現在の状況
大泉JCT付近の工事状況
大泉側本線シールドトンネルの掘進状況 等

練馬区役所 石神井庁舎5階

令和8年1月16日(金)

オープンハウス 18:00~20:00
(C) 意見交換の場 19:00~20:00



■住所/練馬区石神井町3-30-26

■主な内容

事業概要及び現在の状況
大泉JCT付近の工事状況
大泉側本線シールドトンネルの掘進状況 等

練馬区立 上石神井南地域集会所

令和8年1月15日(木)

オープンハウス 18:00~20:00
(B) 意見交換の場 19:00~20:00



■住所/練馬区上石神井1-6-16

■主な内容

事業概要及び現在の状況
大泉側本線シールドトンネルの掘進状況 等

杉並区立 勤労福祉会館3階

令和8年1月21日(水)

オープンハウス 18:00~20:00
(E) 意見交換の場 19:00~20:00



■住所/杉並区桃井4-3-2

■主な内容

事業概要及び現在の状況
大泉側本線シールドトンネルの掘進状況 等

武蔵野市立 本宿小学校

令和8年1月19日(月)

オープンハウス 18:00~20:00
(D) 意見交換の場 19:00~20:00



■住所/武蔵野市吉祥寺東町4-1-9

■主な内容

事業概要及び現在の状況
大泉側本線シールドトンネルの掘進状況 等

北野3丁目常設会場

オープンハウス① 令和8年1月23日(金)
18:00~20:00

オープンハウス② 令和8年1月24日(土)
10:00~12:00 14:00~16:00



■住所/三鷹市北野3-6-1

■主な内容

事業概要及び現在の状況
中央JCT付近の工事状況
中央JCT南側ランプシールドトンネルの掘進状況 等

北野地区公会堂

令和8年1月23日(金)

(F) 意見交換の場 19:00~20:00



■住所/三鷹市北野4-10-1

■主な内容

事業概要及び現在の状況
中央JCT付近の工事状況
中央JCT南側ランプシールドトンネルの掘進状況 等

調布市立 滝坂小学校

令和7年12月19日(金)

オープンハウス① 18:00~20:00
(A) 意見交換の場 19:00~20:00

オープンハウス② 令和7年12月20日(土)
15:30~17:30



■住所/調布市東つつじヶ丘1-4-1

■主な内容

地盤補修の施工状況
事業概要及び現在の状況
中央JCT付近の工事状況
中央JCT南側ランプシールドトンネルの掘進状況 等

外環東名インフォメーションセンター

令和8年1月30日(金)

オープンハウス① 18:00~20:00
(G) 意見交換の場 19:00~20:00

オープンハウス② 令和8年1月31日(土)
10:00~12:00 14:00~16:00



■住所/世田谷区喜多見3-1

■主な内容

事業概要及び現在の状況
東名JCT付近の工事状況
東名JCTランプシールドトンネルの掘進状況
東名JCT地中拡幅工事の概要 等